

短期給付（医療給付）事業の上半期の収支状況について

短期給付事業の苦しい財政状況については、これまで広報誌やホームページでお知らせしてきたところです。

上半期の収支は、支出が収入を約3.5億円上回り、財源率90/1000の掛金・負担金では各種保健給付や高齢者医療制度への拠出金等の支払いを賄えない状況となっています。令和4年度予算は、コロナ禍での状況や短期組合員加入による影響がいずれも不透明であったため、積立金を活用することで財源率90/1000と据え置き、約626,791千円の損失金を見込んでいます。

また、令和4年10月の適用拡大により、約6,000人の短期組合員とその被扶養者の方が加入（以下参照）となりました。年齢構成、平均標準報酬月額や扶養率等これまでと大きく状況が変わりました。

令和5年度は、これらによる影響や収支の状況を踏まえ予算編成を行います。積立金が枯渇する見込みで、現状、財源率の引き上げは必至であると思われるので、あらためてご理解のほどよろしくをお願いします。

収入… 3,662,355千円

(内訳)	掛金・負担金	3,661,786
	その他	569

支出… 4,004,806千円

(内訳)	各種給付	2,013,421
	拠出金等	1,935,971
	その他	55,414

収入－支出 = △342,451千円 上半期損失金

△626,791千円 年間予算額

令和4年10月適用拡大後の組合員および被扶養者の状況

(単位：人、千円)

	組 合 員				被 扶 養 者	
	人数	(60歳以上)	報酬月額 (千円)	平均月額 (円)	人数	扶養率
全体	18,459	(2,151)	6,184,210	335	13,885	0.75
短期組合員以外	13,684	(644)	5,343,628	391	12,574	0.92
短期組合員のみ	4,775	(1,507)	840,582	176	1,311	0.27